

## 第 1803 回例会報告

10月15日は諏訪 RC と諏訪湖 RC 合同  
早朝の「ロータリーデー諏訪湖清掃」例会が  
企画されておりました。

弊会の社会奉仕委員会(宮坂英貴委員長)は朝食  
セット 150 個(うち諏訪 RC へ 40 個渡し)を準備して  
参加協力要請した下諏訪中学校・下諏訪社中  
学校・下諏訪ガールスカウト並びに弊会会員をお待ち  
しておりました。

しかし集合の下諏訪博物館駐車場では夜からの雨  
が続いており 中止となりました。

8 時 20 分まで お見えになられた方々に協力への  
感謝と共に朝食セットをお渡しして 例会は終了と  
なりました。その後 雨は止みましたが自然に左右  
される企画の難しさを知らされました。



令和5年 10 月 15 日(日)雨

## 10月15日 会長告知 会長 萩田 均 ロータリーデー諏訪湖清掃例会

まずは私の不徳により雨天中止になり、誠にす  
みませんでした。ロータリーデー(世界統一奉仕事  
業として諏訪 RC と共同事業)奉仕事業に下諏訪中  
学校先生生徒 50 名、下諏訪社中学校から 25 名、  
ガールスカウト 20 名と一緒にする社会奉仕事業で  
したが、夜中より雨が降り始め、4 時ころからは本  
降りとなり、6 時過ぎに宮坂社会奉仕委員長と協議  
して中止としました。朝食を配布し、終わるころには  
雨は上がりました。子供達と共に環境を考え、行動  
する奉仕事業の大切さは私たちクラブの宝です。  
次世代へバトンをつなぐことをこれからも大切にし  
たいものです。事前の準備運営にご苦勞の宮坂委  
員長、望月幹事に感謝申し上げます。

終了後、富士見 RC50th 事業のため入笠へ向か  
い、諏訪グループ各クラブの会長幹事役員と共に  
植栽記念事業に参加してきました。21 年続けてい  
る総勢 100 名の事業でした。1, 2 株を植えるだけ  
と思っていましたが、浅はかでした。100 程穴を掘  
り、200 株を植えてきました。富士見も雨が降って  
いまして終了時、12 時ころ雨も上がり、疲労をお土  
産に帰宅しました。

## ◇委員会報告◇

国際奉仕委員会主催公開講演会開催される。  
開催 10 月 13 日(金)18 時～ ロジナルパレス マリオ  
講師 シンダナオ子ども図書館(フィリピンの NGO 法人)



西村奈々子氏(25 歳)  
日本スタッフ



松居友氏(70 歳)  
創業者



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「ロータリー 新たな一歩」

ウィークリーの原稿送付先は pr@suwakorc.net です



北原数也委員長

長崎政直副委員長

西村奈々子講師



フイリン現地財団  
シダナオ子ども図書館  
日本 NPO【MCL ジャパン】  
主催者 松居友氏

講演会 参加者約 55 名

## 「生きる力を育む講演会」と 「つつじヶ丘学園との懇談会」報告

国際奉仕委員会 (文責 長崎)

### 講演会

13日、会場7材で「生きる力を育む」と題し、シダナオ子ども図書館 (MCL) より、主宰者松居友氏、スタッフ西村奈々子さんを迎え、国際奉仕委員会主催の講演会を開催いたしました。私達諏訪湖 RC からは 16 名、ガバナ補佐を含め茅野 RC から 4 名、岡谷エコー RC から 5 名、岡谷 RC から 3 名、下諏訪国際交流協会から 2 名、沖野先生の諏訪湖クラブから 2 名、一般参加が 2 名、つつじヶ丘学園から川瀬園長を含め 4 名、38 名の方々にご参加いただきました。

演題は奈々子さんが「シダナオの子ども達から教えてもらった3つのこと」松居さんが「生きる力ってなんだろう・シダナオの子ども日本の子ども」でお願いしました。

冒頭に、子ども図書館活動を諏訪湖クラブの先頭に立って主導し、支援してくれた溝口先生の逝去に哀悼の意を表され、また、10年来続けてきた諏訪湖 RC の個人、クラブの支援に対し感謝が述べられました。

奈々子さんのお話は、論旨がしっかりしていて「夢・希望・成りたい自分をしっかり持ち続けること等」分かりやすかったと思います。

松居さんのお話は、情緒的、話題が飛び、聞く側がしっかり想像力を駆使して、本旨をつかまなければならぬお話でした。「家から出て子ども達が自然の中で、自由に遊ぶこと」「ワイワイガヤガヤ、部屋から出て、みんなで暮らす」「子ども達が自分たちで考え、物事を決めていくこと」「日常の炊事、洗濯、掃除などを子ども達がやる」「子ども達はクリスチャン、イスラム、原始信仰など、人種、宗教を超え一緒に協働して暮らし、他者への思いやり、同情を身につけていること」等々、こうした生き方こそが「生きる力を育める」とのお話でした。こうした考え方は明星学園の小学生時代の担任が、今年亡くなられた無着成恭先生であり、その教えだということです。講演終了後、聴講いただいた諏訪湖クラブの

沖野先生が、知識を学校で教えることの前に、人間としての有り様を育むことが大事で、教育をもう一度考えてみなければいけない。松居さんの話法は、無着成恭さんにそっくりで、なんかあっちこっちへ飛んでいくんだよ。それから若い奈々子さんの力強い、しっかりした姿勢、そこに繋がっていく若い人たちのネットワークに、明日の日本も期待できると思う。良い講演会だったとも話と話してくれました。

懇親会の最後に篠原ガバナ補佐は、0-列-は他クラブの事業にも積極的に参加し、協力してグループの力を強くしていくことが大事だという所見が話されました。

### つつじヶ丘学園との懇談会

翌14日には、10時~12時の2時間、つつじヶ丘学園の阪本博美さん、矢島慎也さんと松居友さん、西村奈々子さんとの懇談会が、つつじヶ丘学園で行われました。諏訪湖 RC クラブからは、国際奉仕委員長北原数也君、成山秀幸委員、長崎政直副委員長が同席しました。

両施設の子育てに関わる課題 1. MCLF の活動 つつじヶ丘の活動 2. 子ども達が入所する理由 3. 子ども達の暮らしぶり 4. 18歳退寮後の子ども達への支援 (マイナス状況から0状況へ更にプラス状況へ) (子ども達の夢・希望の自覚: それをどう支援するのか) 5. Zoom による交流について等が予定時間を超え、熱心に意見交換されました。傍聴した感想としては、日本の官制の児童養護施設には妥当性を欠いたり、職員数を含め私立の MCL の活動に比べ制約があり、マイナス状況から0地点: 食べることが出来る、医療が受けられる、教育が受けられるところまでで、退寮後のプラス状況へ押し上げていくことが難しく、職員の皆さんは苦闘しているように感じました。Zoom による MCL の子ども達との交流会は、参加している子ども達は、外の社会への好奇心が芽生え、楽しみにしているようで、参加した男の子から「またやってね」と催促されました。

岡谷クラブの知人につつじヶ丘の支援の話をしたところ、岡谷クラブもテーマの一つだから「協調して何か出来るといいですね」というところに話は落ち着きました。

## ★ トピックス

● 理事会開催が10月26日と変則的な月末開催の為上程前ですが「**大津中央 RC 訪問交流事業**」が来月企画されていますので情報提供を掲載します。

変更もあり得ます。理事会承認後の内容に従って下さい。

**紅葉秋の京都親睦旅行と大津中央 RC 交流会**

**実施担当 クラブ奉仕委員会(小口直久委員長)**

**実施日 11月18日(土)~19日(日)**

**参加者負担金 5万円程度**

**旅程案 6:30 上諏訪⇒7:00 岡谷 IC⇒12:30 京都美濃吉本店「京料理と舞子の宴」⇒東福寺紅葉⇒宿泊からすま京都ホテル・大津中央 RC 懇親会**

● **スワコエイトピークス トライアスロン第2回大会**  
**【諏訪湖と八ヶ岳の未来をつなごう!】**

**2024年6月23日(日)開催決定**